

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）
（旧デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ））
令和6年度実施事業に係る効果検証資料

事業名	空き家再生等推進事業 (空き家を活用した旅行者の滞在先、移住希望者の住居の確保)							
計画年度	R6～R8	担当部署	都市整備課 (地域活力創出課)	事業費 (千円)	総事業費 3,300	うち国費 1,650	うち県費 825	うち一般財源 825
根拠法等	空家等対策の推進に関する特別措置法 東温市空家等対策計画 東温市移住定住促進マスタープラン							
事業概要	市内全域の空き家のデータベース化、相談体制の強化、民間事業者との連携強化等により、空き家及び跡地の利活用をさらに進め、転入者の受入れ促進及び健全な市街地の形成に繋げるため、愛媛県と参画市町との協働による「トライアングルエヒメDXイノベーション愛媛プロジェクト」の枠組みに参画し、空き家対策業務全般の変革(DX)を推進する。							
事業実績	 <p>【市内空き家物件】</p>				<p>これまでに実施してきた空き家対策事業(除却補助事業や空き家バンク制度等)に加え、新たに以下の対策に取り組んだ。</p> <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家相談窓口「東温市アキカツカウOUNTER」の設置 市内空き家全数把握調査の実施、空き家総数1,039戸の把握 空き家相談員(空き家担当地域おこし協力隊)の導入・育成 課横断型の空き家対策推進体制の確立 東温空家等対策計画の改訂 空家等管理活用支援法人の指定開始 (R7年11月時点:3法人指定) <p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家所有者等に対する個別アプローチの開始 地域の空き家を考える会「とうおん空き家セッション」開催 宅建協会や市内不動産事業者等との連携強化 			
	令和5年度 (基準値)	令和6年度	令和7年度 (11月末実績値)	令和8年度	(単位) 件/年度			
指標名	空き家相談件数				計画年度合計			
目標値	-	58	117	176	351			
実績値	53	94	150	-	244			
達成状況	-	達成	達成	-	(未達成)			
自己評価	<p>県や他市町、民間事業者との連携体制のもと、デジタル技術と新たな人材の力を掛け合わせる形で業務変革(DX)を実行することができた。その結果、本事業着手以前の令和5年度と比較して、空き家相談件数は約3倍となる150件(令和7年度11月末)となり、また実際の空き家解消に繋がる事例も見られ始めたことから、今後も本事業を継続して推進し、空き家所有者等の意思決定の加速化に向けて更なる後押しに努める必要がある。</p>							
	地方創生に 非常に効果があった	地方創生に 効果があった	地方創生に 一部効果が見られた	地方創生に 効果がなかった				
	事業内容の 追加または変更を行い、 発展的に実施する	事業内容の 改善・見直しを図りながら 継続する	事業の一部は継続、 一部は廃止する	事業全体を廃止、 又は中止する				
委員からの意見	<p>・東温市の空き家対策事業は先進的であり感心している。</p> <p>・移住体験住宅が街中にあるが、山間部の古民家再生についても検討の余地がある。</p> <p>・空き家相談の内容はどのようなものがあるか</p> <p>⇒利活用希望者と苦情に分けられる。苦情は内容に応じて早期対応を心掛けている。利活用については空き家の状態を確認後、除却を勧めたり、空き家バンクへの登録を促したりしている。</p> <p>・アキカツカウOUNTERの詳細は</p> <p>⇒空き家に強い業者と連携して、空き家相談を電話、専用フォームで受付後、案件毎にカルテ化して共有しており、相談内容の解決に至るまで支援している。</p> <p>・空き家を空き家としないための事前対策が重要である。様々な対応を検討いただきたい。</p>							